

令和 5 年度山口県公立高等学校入学者選抜

学力検査の結果の概要及び今後の学習指導に向けて

令 和 5 年 4 月

山 口 県 教 育 委 員 会

目 次

ページ

○ 令和5年度山口県公立高等学校入学者選抜のための 学力検査の結果について	1
○ 各教科の結果について	
国語	2
社会	4
数学	6
理科	8
英語	10

令和5年度山口県公立高等学校入学者選抜のための 学力検査の結果について

1 出題の概要

令和5年度の学力検査の出題については、中学校教育の充実と発展に資するよう、中学校学習指導要領(平成29年告示)に準拠しつつ、以下のとおりとした。

- 学習の到達の状況を把握するため、総合的に学力をみることができるよう、基礎的・基本的な内容と応用的な内容について均衡を図って出題した。
- 知識及び技能の習得状況を適切に測る内容を出題するとともに、知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を測る内容を重視した問題を出題した。

2 結果の総評

- 各教科とも基礎的・基本的な事項に関する問題については、おおむね平素の学習の成果が表れていた。
- 表やグラフなどの資料から必要な情報を読み取る問題については、おおむねできており、学習の成果が表れていたが、読み取った情報を活用して適切に表現する力をみる問題や、論理的に考えたり柔軟に思考したりする力をみる問題については、更に努力が必要な状況がみられた。
- 今後とも、学習内容と日常生活を関連付けるなど、学ぶことの意義や有用性を実感できるような学習活動の充実を通して、学習に対する興味・関心を高め、主体的に学習に取り組む態度を養うことが大切である。また、主体的・対話的で深い学びの実現により、知識及び技能の確実な定着を図るとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することが重要である。

国語

1 出題の特徴

- 国語に関する基礎的・基本的な力をみるとともに、文章の種類を踏まえて、登場人物の心情や筆者の主張、物語や論理の展開の仕方などを適切に捉える力をみる問題を出題した。
- 複数の文章や図表などを結び付けながら内容を適切に解釈し表現する力をみるとともに、国語に関する知識及び技能を実生活の様々な場面で活用する力をみる問題を出題した。
- 作文の問題について、目的や意図に応じて必要な材料を集め、根拠を明確にしながらか、自分の考えを分かりやすく伝える力をみる問題を出題した。

2 結果の概要

- 登場人物の言動の意味や論理の展開を的確に読みとり、適切に表現する力をみる問題はいま一步であったが、基礎的・基本的な知識及び技能に関する問題については、一部に課題もみられたが、おおむねできていた。
- 文章と図表を結び付け、適切に内容を解釈し表現する力をみる問題は、文章と図表との関連を適切に解釈することができておらず、いま一步であった。
- 作文については、必要な材料を集めて根拠を明確にしながらか表現することができていないものがみられ、必ずしも十分とはいえなかった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

一 〈問題文は、佐藤まどか「スネークダンス」から。ここでは省略〉

- (五) 「それなら、ぼくにも可能性はありますか?」とあるが、なぜ「圭人」はそのような質問をしたのか。次の文がその説明となるよう、に入る適切な内容を、「スケッチ」という言葉を用いて五十字以内で答えなさい。

「師匠」の講演を聞いて、宮大工になりたいと思った「圭人」は、ことに気づき、自分にも宮大工になるために必要なものが備わっているのではないかと感じ、「師匠」にそれを確かめたいと考えたから。

正答例 宮大工に必要な情熱、執念、敬意のうちの執念と敬意を、「師匠」が自分のスケッチから感じ取っていた

【解答の状況】

直前の「師匠」の発言を踏まえて、場面の展開を読み取ることができていない解答が多くみられた。

【課題】

場面の展開や登場人物の心情の変化を、描写を基に的確に読み取り、適切に表現すること。

《問題例②》

【四】 〈令和3年度「情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」(総務省)より作成。ここでは省略〉

【発表原稿の一部】 ※ 一部を抜粋

データ2 と データ3 との比較からは、他にも気になることがあります。それは、各メディアに対する信頼度と実際に利用する割合との関係です。データ2 を見ると、信頼できる情報を得るときにテレビを利用する割合は、すべての世代で、インターネットを利用する割合よりも高くなっているのに対し、新聞を利用する割合は、六十代を除き、インターネットを利用する割合よりも低くなっています。つまり、 ことが分かります。このことから、私たちは、信頼できる情報を得るために適切にメディアを利用できているのか、振り返る必要があるのではないかと考えました。

(三) 【発表原稿の一部】の に入る適切な内容を、「信頼度」という言葉を用いて答えなさい。

正答例 信頼度が高いメディアと認識していても、必ずしも利用する割合が高いわけではない

【解答の状況】

【発表原稿の一部】の中にある「各メディアに対する信頼度と実際に利用する割合との関係」を踏まえて、文章と図表を結び付け、内容を解釈することができていない解答が多くみられた。

【課題】

文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈し、適切に表現すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ 文章の展開に即して内容を正確に理解する力の育成

言語活動を通して、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えたり、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価したりして、文章の内容を正確に理解することができるようにするとともに、文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈できるようにする。

○ 適切に表現する力、自分の考えを伝える力の育成

文章の内容を要約したり、自分の考えをまとめたりする活動に加えて、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、根拠を明確にしながら、その内容をわかりやすく伝えられるように文章の構成や表現の仕方を工夫できるようにするとともに、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができるようにする。

○ 言語感覚を豊かにし、思考力や想像力を養う活動の充実

読書によって自分の生き方や社会との関わり方を考えながら言語感覚を豊かにするとともに、日常の言語活動を振り返り、実際に「話す」「聞く」「書く」「読む」場面を学習の中で意識したり、人との関わりの中で伝え合う力を高めたりして、思考力や想像力を養う。

社会

1 出題の特徴

- 社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や概念の理解、技能の習得状況をみる問題を出題した。
- 知識及び技能を活用して、多様な資料から情報を読み取り、適切に表現する力をみる問題を出題した。
- 複数の資料を用いて、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連について多面的・多角的に考察する力をみる問題を出題した。

2 結果の概要

- 基礎的・基本的な知識や概念の理解、技能の習得状況をみる問題については、一部に課題もみられたが、おおむねできていた。
- 知識及び技能を活用して、多様な資料から情報を読み取り、適切に表現する力をみる問題については、必ずしも十分とはいえなかった。
- 複数の資料を用いて、社会的事象について多面的・多角的に考察する力をみる問題については、いま一步であった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

4 (略)

(4) 下線部④に関連して、次のア、イに答えなさい。

ア 次の1～3は、第一次世界大戦以降のできごとである。1～3のできごとを、年代の古い順に並べ、記号で答えなさい。

- 1 アジア・太平洋地域の国際体制について話し合うため、ワシントン会議が開かれた。
- 2 ドイツで、ファシズムをかかげる政党が民衆の支持を得て、初めて第一党となった。
- 3 世界恐慌のきっかけとなる株価の大暴落が、アメリカで起こった。

イ (略)

正答 1 → 3 → 2

【解答の状況】

「2→3→1」や「2→1→3」など、事象同士の相互の関連や因果関係についての理解が十分ではないと思われる解答がみられた。

【課題】

社会的事象について、相互のつながりを踏まえて理解すること。

《問題例②》

2 (略)

(5) (略)

イ Gさんは、東京都内を歩いているときに、図Ⅲのように地下鉄駅の入り口が階段を数段上った後に下る構造になっているものを見つけた。そこで、隅田川下流域周辺の地形図(2万5000分の1)を用いて資料Ⅰを作成し、地理院地図を用いて資料Ⅱを作成して、図Ⅲのような構造になっている理由を考察した。資料Ⅰ、資料Ⅱを参考にして、図Ⅲのような構造になっている理由を説明しなさい。

図Ⅲ



「門前仲町駅」の入り口

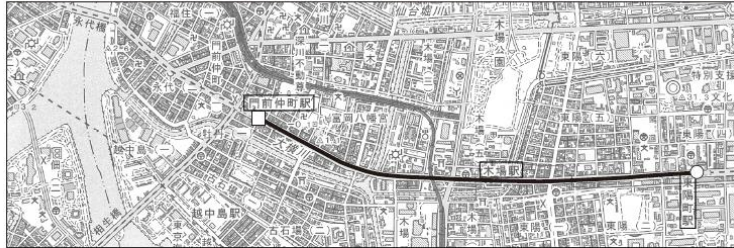


「木場駅」の入り口

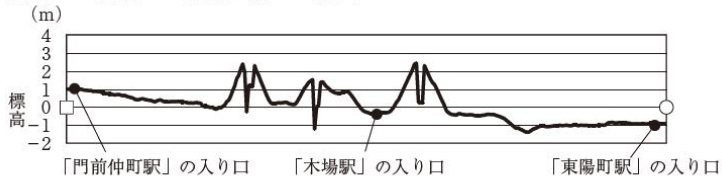


「東陽町駅」の入り口

資料Ⅰ 地下鉄「門前仲町駅」から「東陽町駅」までGさんが歩いた経路



資料Ⅱ 資料Ⅰの経路に沿った断面



(注) 資料Ⅱ中の□と○は、資料Ⅰ中の□と○に対応する。高さは強調して表現してある。(地理院地図により作成)

正答例 この区間は標高が低く、大雨や洪水が発生した際に、水が地下鉄駅内に流れ込むのを防ぐため。

【解答の状況】

資料から必要な情報を適切に読み取れていない解答や、「標高が低い」ということについての言及のみなど、複数の資料を関連付けて考察することができていない解答が多くみられた。

【課題】

複数の資料から読み取れることを相互に関連付けて考察し、適切に表現すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ **基礎的・基本的な知識の理解を促す学習活動の充実**

基礎的・基本的な知識を確実に習得しながら、既習の知識と関連付けたり組み合わせたりしていくことにより、学習内容の深い理解と、個別の知識の定着を図るとともに、社会における様々な場面で活用できる、概念などに関する知識として獲得できるようにする。

○ **多様な資料から必要な情報を読み取り、まとめる力の育成**

地図、年表、写真、新聞、読み物、統計などの資料に平素から親しむとともに、目的に応じて必要な情報を読み取り、読み取った情報を適切にまとめる力を育成する。

○ **社会的事象について多面的・多角的に考察する力の育成**

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力、課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを適切に表現する力を育成する。

数 学

1 出題の特徴

- 基礎的・基本的な内容について、概念や原理・法則などの理解及び事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能の習得の程度をみる問題を出題した。
- 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力をみる問題を出題した。
- 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力をみる問題を出題した。

2 結果の概要

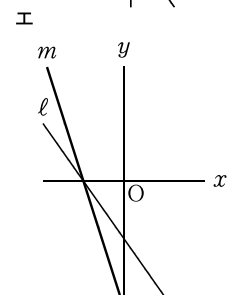
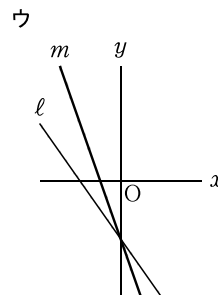
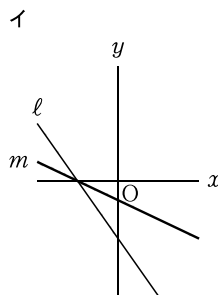
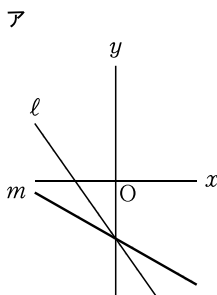
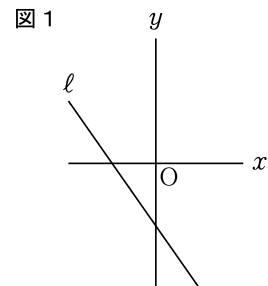
- 基礎的・基本的な知識及び技能の習得の程度をみる問題については、一部に課題もみられたが、おおむねできていた。
- 見出したことや思考の過程、判断の根拠などを数学的な表現を用いて論理的に考察する力をみる問題については、いま一步であった。
- 事象を論理的に考えたり、柔軟に思考したりしながら、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現する力をみる問題については、いま一步であった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

8 (略)

(1) 図1において、直線 l は、 $a < 0$ である関数 $y = ax - 1$ のグラフである。直線 l と同じ座標軸を使って、関数 $y = bx - 1$ のグラフである直線 m をかく。 $a < b$ のとき、図1に直線 m をかき加えた図として適切なものを、下のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。



正答 ア

【解答の状況】

2つの直線 l 、 m について、切片が同じであることには気付いたが、負の数 a 、 b の大小関係により、傾きにどのような違いがあるかを理解できていないと思われる解答が多くみられた。

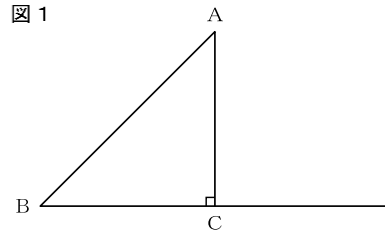
【課題】

基礎的・基本的な内容について、概念や原理・法則などの理解及び事象を数学化する力を育成すること。

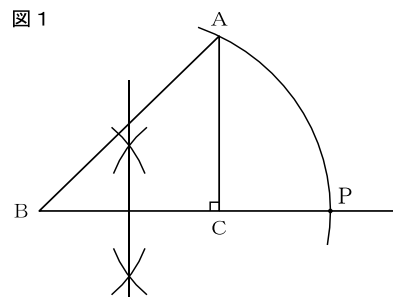
《問題例②》

7 (略)

- (1) 図1のように、 $AC=BC$ の直角二等辺三角形 ABC があり、辺 BC の C の方に延長した半直線 BC をひく。 $AC=2$ としたとき、半直線 BC 上にあり、 $BP=1+\sqrt{5}$ となる点 P を定規とコンパスを使って作図しなさい。ただし、作図に用いた線は消さないこと。



正答例



【解答の状況】

辺 BC の垂直二等分線の作図はしているが、図中から $\sqrt{5}$ に当たる部分を、三平方の定理を用いて導くことができていないと思われる解答が多くみられた。

【課題】

図形の性質を見だし、論理的に筋道を立てて考察すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ 基礎的・基本的な概念や原理・法則を理解する力の定着

関数を学習する際に、既習事項である比例や反比例、一次関数を取り上げ、それらを比較することで関数の理解を深めるなど、関連する内容を意図的に結びつけ、基礎的・基本的な概念や原理・法則を理解する力の定着を図る。

○ 数学を活用して課題解決の過程を論理的に考察する力の育成

根拠を明らかにし、筋道を立てて体系的に考えたり、説明し伝え合ったりする活動の充実を図ることで、言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互の関連を考察する力を育成する。

○ 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力の育成

日常生活や社会における事象を数学と結び付けて考察したり処理したりする活動を通して、数学を利用することの必要性や意義を実感できるようにするとともに、柔軟に思考し、数学的に表現する力を育成する。

理科

1 出題の特徴

- 自然の事物・現象について、基礎的・基本的な知識及び技能の習得状況、概念や原理・法則の理解の程度をみる問題を出題した。
- 見通しをもって観察、実験を行い、得られた結果を分析して解釈し、考察したことを適切に表現する力をみる問題を出題した。
- 日常生活や社会との関連を重視した科学的に探究する活動を行うことを通して、仮説を確かめるための観察、実験を立案する力や、条件制御の知識・技能を活用して仮説の妥当性を検討したり、考察したりする力をみる問題を出題した。

2 結果の概要

- 自然の事物・現象について、基礎的・基本的な知識及び技能の習得状況、概念や原理・法則の理解の程度をみる問題については、一部に課題もみられたが、おおむねできていた。
- 見通しをもって観察、実験を行い、得られた結果を分析して解釈し、考察したことを適切に表現する問題については、必ずしも十分とはいえなかった。
- 仮説の妥当性を検討したり、考察したりする力をみる問題については、おおむねできていたものの、仮説を確かめるための観察、実験を立案する力をみる問題については、いま一步であった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

6 (略)

- (1) 実験で用いられる誘導コイルは、電磁誘導を利用した装置である。電磁誘導とはどのような現象か。「電圧」という語を用いて述べなさい。

正答例 コイル内部の磁界が変化することで、コイルに電圧が生じる現象。

【解答の状況】

「電圧を変化させることで磁界が発生する現象。」「大きな電圧を加えて電気が発生する現象。」とするなど、磁界の変化によって電圧が生じるという関係性が理解できていない解答や、「電圧」などの科学的な言葉を適切に用いて表現することができていない解答が多くみられた。

【課題】

現象についての概念や原理の理解を図るとともに、科学的な言葉を適切に用いて表現する力を育成すること。

《問題例②》

9 (略)

(3) KさんとLさんは、実験後、T先生と次の会話をした。下のア、イに答えなさい。

(略)

Kさん： そうなのですね。これらの実験の結果をふまえると、なべの底に沈んでいた豆腐が浮いてきたのは、煮込むことによって、豆腐の ので、「豆腐の重さ」より「豆腐が押しのかけた水の重さ」が大きくなったからというわけですね。

T先生： そのとおりです。実験の結果をもとに正しく考察できましたね。

(略)

イ Kさんの発言が、実験の結果をもとにした考察となるように、に入る適切な語句を書きなさい。

正答例 体積が大きくなった

【解答の状況】

「質量が小さくなった」「体積が小さくなった」とするなど、浮力の概念が理解できていない解答や、実験の結果を科学的に考察することができていない解答が多くみられた。

【課題】

科学の基本的な概念を身に付けるとともに、実験の結果を科学的に考察する力を育成すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ 科学の基本的な概念の形成を図る学習活動の充実

自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考えさせるなど、科学の基本的な概念の形成を図る。

○ 観察、実験を中心に、探究の過程を通じた学習活動の充実

自然の事物・現象に進んで関わり、課題を見だし見通しをもって観察、実験を行い、結果を分析して解釈するなど、探究の過程を通じた学習活動をより一層重視する。その際、話し合いなどの言語活動を充実させ、観察、実験で得られた結果を互いに共有するとともに、対話を通して多面的に考察し、表現する場面を設定する。

○ 知識及び技能を日常生活の様々な場面に活用する力の育成

身近な自然の事物・現象を授業で取り上げ、理科を学ぶことの意義や有用性を実感させるとともに、観察、実験などの体験的な活動を通して、理科の学習で得た知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成する。

英語

1 出題の特徴

- 日常的な話題に関する対話を聞いて、概要を捉える力、適切に応答する力、必要な情報を聞き取る力をみる問題を出題した。
- 対話文や物語など、まとまりのある文章を読んで、概要や要点を捉える力、目的に応じて必要な情報を読み取る力などをみる問題を出題した。
- コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、伝える内容を整理し、英語で表現する力をみる問題を出題した。

2 結果の概要

- 基本的な表現を用いた短い対話を聞いて理解する力をみる問題はできていたが、必要な情報を聞き取る力をみる問題や、聞いた内容について応答する力を見る問題は、いま一歩であった。
- まとまりのある文章を読んで、概要や要点を捉える力、目的に応じて必要な情報を読み取る力などをみる問題は、一部に課題もみられたが、おおむねできていた。
- 目的や場面、状況に応じて、伝える内容を整理し、英語で表現する力をみる問題は、いま一歩であった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

1 放送によるリスニングテスト

テスト3 (略)

また、あなたが Mizuki ならば、Shota の最後の質問に対して何と答えるか。下線部(D)に4語以上の英語で書きなさい。〈【対話】は一部省略〉

【対話】

Shota: OK. I think we and the foreign students should have time to know each other first. So, my idea is to have a festival at school. I have two ideas. The first one is a music festival. We can enjoy our brass band's performance and singing songs together. The second one is a sports festival. We can play sports such as volleyball and badminton. We can communicate through sports.

Mizuki: Each festival has good points. I believe we can enjoy the festivals together.

Shota: Thank you. But if you choose one, which festival do you like better?

正答例 I like a music festival better.

【解答の状況】

like a school trip やlike basketball betterなど、対話の要点や尋ねられていることを理解していないと思われる解答がみられた。

【課題】

日常的な話題に関する対話を聞いて、必要な情報を捉えること。

《問題例②》

6 次は、高校生のAyakoと、シンガポールの高校生Judyが、オンラインで交流しているときの対話の一部である。あなたがAyakoならば、Judyに何を伝えるか。対話文を読んで、にJudyに伝えることを書きなさい。ただし、下の【注意】に従って書くこと。 〈【対話文】は一部省略、【注意】は省略〉

【対話文】

Judy: I want to speak Japanese better. What should I do? Give me your advice.

Ayako: OK.

Judy: That's a great idea! I'll try it. Thank you, Ayako.

正答例 You should watch Japanese movies. You can learn various Japanese words used in our daily lives. If you practice using these words with your friends, you can speak Japanese better.

【解答の状況】

“You should～”等を使って、アドバイスをすることはおおむねできていた。一方で、対話の流れに合ったアドバイスとなっていないものや、“You should watch Japanese movies. I think it is interesting to practice Japanese. So, if you want to speak Japanese, you should watch Japanese movies.”のように、内容のまとまりが意識できていないものもみられた。

【課題】

目的や場面、状況に応じて、伝える内容を整理し、表現すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ コミュニケーションを支える基本的な表現や文法事項の確実な定着

実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動を行う際には、それを支える基本的な表現や文法事項について、繰り返し使用する活動を行うなど、相互を効果的に関連付けることで定着を図るようにする。

○ まとまりのある英語を読んだり聞いたりして概要や要点を捉える力の育成

一語一語や一文一文の意味など特定の部分にのみとられることなく、大まかな内容を捉えたり、複数の情報を取り出し、どの情報が最も重要であるかを判断したりする活動を取り入れることで、まとまりのある英語を読んだり聞いたりして概要や要点を捉える力が身に付くようにする。

○ 自分の考えを整理し、まとまりのある内容を伝える力の育成

授業での教員・生徒間及び生徒同士の英語によるやりとりや、「手紙、日記、スピーチ原稿を書く」などの活動の中で、事実や自分の考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を話したり書いたりする力を育成する。